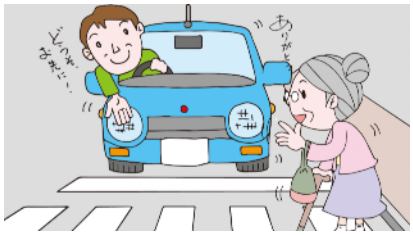
東住吉中学校　校長室だより　　令和2度 No.5

ひまわり

令和2年5月14日（木）

バイク通勤で見えたもの



　学校に近い駒川北公園ではセンダンの花が満開。漢字では「栴檀」と書きます。秋には２cmほどの小さな実が熟しますが、サポニンという毒性物質を含むため、人が食べると食中毒を起こします。犬が散歩中に食べてしまうのも要注意です。俳句では夏の季語です。「栴檀の花そよぎつつ水の空（長谷川 櫂）」５月５日は立夏でした。季節は夏に向かっています。

　新型コロナウィルス感染防止のため、バイク通勤を始めて１か月。往復、約50kmの道のりにもやっと慣れてきました。今日は、バイク通勤で感じたことを書きます。

　「方向指示器もつけずに目の前に割り込んでくる」「交差点内で猛スピードで追い越く」「直後についてあおってくる」「スマホやテレビを見ながらの運転」「黄色信号で止まろうとすると後続車が真横を追い抜く」「施設から一時停止せずに飛び出してくる」など、すべて法規違反。

　よほど防衛的な運転をしないと、命がいくつあっても足りない、と思うばかりです。昨日も事故の直後を目撃しました。交差点での車とバイクの衝突でした。車が左折時にバイクを巻き込んでしまったようです。どのような状況で事故が発生したのか分かりませんが、交通法規を守っていれば防げた事故だと感じました。

　とても危険な運転をするドライバーが目立ちますが、安全運転をしているドライバーも多くいます。右折のために右車線に入った時、後続の大型トラックが私との車間距離を大きく空けてくれました。すごく安心しました。ガソリンスタンドから出ようとした時、道を譲ってくれたドライバーもいました。ありがたいことです。

　自分が事故を起こしたり、事故に巻きこまれないようにするためには、交通法規を守ることです。赤信号では止まる、一時停止を守るなど、ルールを守ることが第一です。同時にドライバー同志の心遣いや思いやりも大切です。全てのドライバーが、思いやりのある優しい運転をすれば、交通事故は激減します。皆さんも、自転車に乗ったり、歩行者として道路を歩くことがありますが、交通ルールを守り、加害者や被害者にならないように気をつけましょう。

　このことは、私たちに日常にもあてはめることができます。人々がルールを守ることで秩序が保たれ、安心・安全な社会の実現につながります。また、互いに周囲への気配りをし、優しい気持ちで人と接することができれば、良好な人間関係ができることを忘れてはなりません。

　学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。